

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											HIV感染	英SCIEH	NHSスコットランド研究所は以前にHIV陽性として登録されていない105例がHIV抗体検査で陽性であったことを報告した。
											A型肝炎	proMed	サウジアラビアでA型肝炎患者10名が、Asirの沿岸地区の村落や学校から報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EU・EMEA	英国で変異型クロイツフェルト・ヤコブ病のリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の査察についてのガイドラインが掲載されている。
											HIV-1 C型肝炎	米FDA	全血および血液成分提供者からのプールおよび個別検体に対する核酸検査の使用についてのガイダンスが掲載されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英HPA	英国でvCJD診断確定死亡症例
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED	アイルランドでの男性の新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病感染疑い患者が診断確定した場合、アイルランド食品安全局は、この男性が10年から15年前に、アイルランド国内で汚染された牛肉製品を摂取して感染した可能性が高いと考えている
											A型肝炎	ProMED	A型肝炎が、ロシアのKaliningrad地域住民に深刻な被害をもたらしている。
											HIV感染 B型肝炎 C型肝炎	英国保健省 (Department of Health)	英国で「困窮している小児と血液媒介ウイルス：HIVおよび肝炎」が2004年11月5日に保健省によって発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED	アイルランド首相は同国初の変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者がダブリンの病院で診断されたことを受けて、直ちに国民の危惧を静めるよう動いた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED	最近アイルランドで患者1名が、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の可能性があると診断された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED	医学研究審議会プリオン部のチームが公表した新規研究結果により、なぜある特定の遺伝子構成をもつ個人のみが、変異型CJDをこれまでに発症したかの説明が提起された。
											HIV感染	WHO	HIVに感染した女性の数は、世界の各地域において増加している事が示された。
											HIV感染	CDC-MMWR	世界AIDSデー2004のテーマは、女性、少女、HIVおよびAIDSであり、女性に対するHIVおよびAIDSの影響の増加に焦点をおいている
											HIV感染	英HPA CDR Weekly	英国の抗レトロウイルス使用経験者および未使用者におけるHIV薬物耐性率の最新情報に関する報告書
											HIV感染	英SCIEH	世界AIDSデーに、UNAIDSは世界および地域のAIDS推定値および流行の発生の新しい動向について強調しているAIDS Epidemic Update 2004からのデータを発表する記者会見を開催する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Canada	フランス保健省は(vCJD)患者から献血された血液の受血者追跡調査を開始した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED	最近発表された研究によれば、ヒトPrP遺伝子を発現させた遺伝子組み換えマウスにおける変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の発生は、ヒトPrP遺伝子の129コドンがメチオニンホモ接合体であったマウスにおいてのみ発生した。
											HIV感染	ProMED	カナダでサーベイランスデータの主な結果は(CIDPC)に報告されたHIVおよびAIDS診断症例の概要を報告。
											E型肝炎	ProMED	国内の政府研究者らが4県で捕獲されたイノシシからE型肝炎ウイルスのRNAを検出したと厚生労働省の研究グループが報告した。
											E型肝炎	IDSC-IDWR	E型肝炎は、無症状病原体保有者を含め、すべての医師に届け出が義務付けられている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED	輸血用血液の安全性確保に関して高まる懸念。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/02/04	40904	帝国臓器製薬株式会社	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国・オランダ	有効成分	無し	無し	無し			
2005/02/04	40905	帝国臓器製薬株式会社	日局カリジノゲナーゼ	カリジノゲナーゼ	ブタ膵臓	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/02/04	40906	中外製薬株式会社	該当しない	ストレプトコックスピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	溶連菌抽出物注射用		有効成分	無し	無し	無し			
2005/02/04	40907	中外製薬株式会社	該当しない	Bacto Tedd Hewitt Broth	ウシ心臓,骨格筋,骨髄,脂肪組織,結合組織,乳,ブタ心臓,膵臓,胃	ウシ:米国,オーストラリア,ニュージーランド,ブタ:米国,イタリア,カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/04	40908	中外製薬株式会社	該当しない	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/04	40909	中外製薬株式会社	該当しない	ペプトンN粉末	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/04	40910	中外製薬株式会社	該当しない	牛肉	ウシ骨格筋	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/04	40911	中外製薬株式会社	エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/04	40912	中外製薬株式会社	エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン(BSA)	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/08	40913	日立化成工業株式会社		アレルギー性疾患患者から抽出、精製した抗アレルギー性物質	ヒト尿	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	J Clin Invest 113(10):1465-1472	実験的にスクレイビーを感染させたげっ歯類の筋肉とクロイツフェルトヤコブ病患者の筋肉からプリオン蛋白が発見された。筋肉への広がり運動神経を介していることが推測された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine, 2004, 10(6), 591-593	フランスの研究グループによると、スクレイビーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。
											咽頭結膜熱	IDWR 2004 27、28、29、30週	咽頭結膜熱の報告数が過去10年間で最高となっている。
											HIV	IDWR 2004 28、44週	3/29～9/28までの国内のエイズの動向について
											細菌性髄膜炎	IDWR 2004 40、46週	髄膜炎の報告数について
											マイコプラズマ性肺炎	IDWR 2004 46、48、50週	マイコプラズマ性肺炎の報告について
											細菌性胃腸炎	IDWR 2004 49、50、52週	細菌性胃腸炎の報告について
											トリロタウィルス	第52回日本ウィルス学会学術集会 2004/11/21-23	トリロタウィルスがウシだけでなくヒトにも感染が確認された。
2005/02/08	40914	デンカ生研株式会社	発疹チフスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受精卵		製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/10	40915	住友製薬株式会社	酢酸ソマトレリン	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/02/10	40916	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 乾燥濃縮人血液凝固Ⅶ因子 人ハプトグロビン 人血清アルブミン	ヘパリン	ブタ小腸粘膜	中国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/10	40917	株式会社ベネシス	ウロキナーゼ	精製ウロキナーゼ液	人尿	中国	有効成分	有り			ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血を受けたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたかどうかが明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフレースドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress 11 Nov,2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレシブの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrPscのタイプに分類したサベイランスを行うことによって、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrPscタイプや特定のPrPscサブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting,UK/February 2003	英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルト会社のDet Norske Veritas (DNV)がvCJDの伝達性病病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るためにvCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行いさらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003/2に最終報告として発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News/10 November,2004	アイルランド共和国において、英国滞在しレキのないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことがなく、供血もしたことがない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress 11 Nov.2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレシピエントの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrPscのタイプに分類したサベイランスを行うことによって、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrPscタイプや特定のPrPscサブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルパルポウイルス感染	Journal of Infection Disease 190(11)1900,2004	サルパルポウイルスに対する抗体陽性のマカクサルスのコロニーの取り扱い者の血清サンプルについてサルパルポウイルス抗体をしらべた。その結果、暴露された人で、51%の陽性率であったのに対し、暴露されなかった人では35%であった。また、ヒトサルパルポウイルスB19ペースのELISAではサルパルポウイルスはヒトの骨髄単核細胞でも増殖し赤血球前駆細胞に毒性があることを示した。これらのことから、サルパルポウイルス人獣共通感染症である可能性が示唆された。
2005/02/10	40918	日研化学株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/02/14	40919	日本製薬株式会社	トロンビン 加熱人血漿たん白 乾燥ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン 乾燥人血液凝固第IX因子複合体 乾燥濃縮人アンチトロンビンIII 人血清アルブミン(20%) 人血清アルブミン(25%) 人免疫グロブリン	ヘパリン	ブタ腸粘膜	ブラジル	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/25	中国の研究者が中国のいくつかの地域における農場のブタが、トリインフルエンザH5N1株に感染したと発表した。中国の農業省は、この研究者の発見を確認した。
2005/02/14	40920	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	チソキナーゼ	ヒト胎児肺細胞	米国	有効成分	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/02/14	40921	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	無し	無し	無し			
2005/02/14	40922	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/14	40923	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	ブタペプトン	ブタ胃	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/14	40924	旭化成ファーマ株式会社	チソキナーゼ	抗チソキナーゼモノクローナル抗体	マウスミエロマ細胞及びマウス抗チソキナーゼ抗体産生脾臓細胞から作成したハイブリドーマ	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/14	40925	三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	フィブリノリジン	牛の血漿	ニュージーランド	有効成分	無し	無し	無し			
2005/02/14	40926	三共株式会社	フィブリノリジン、デオキシリボヌクレアーゼ	デオキシリボヌクレアーゼ	牛の脾臓	ニュージーランド	有効成分	無し	無し	無し			
2005/02/15	40927	泉工医科工業株式会社	人工心肺装置の付属品 人工心肺用血液回路	ペパリン	ブタ小腸粘膜	米国	製造工程	有り	無し	無し	アフリカ豚コレラ	OIE Disease Information, 17(48), 2004/11/26	ブルキナファソ国のある地域でブタ14900頭がアフリカ豚コレラに感染し601頭が死んだ。
											アフリカ豚コレラ	OIE Disease Information, 17(48), 2004/11/26	エリトリア国のある地域でブタ900頭がアフリカ豚コレラに感染し、45頭が死んだ。
											アフリカ豚コレラ	OIE Disease Information, 17(48), 2004/12/24 18(1)2005/1/7	ナミビア共和国のある地域でブタ 245頭がアフリカ豚コレラに感染し29頭が死に、残りは殺処分となった。
											口蹄病	OIE Disease Information, 18(1)2005/1/8	コロンビアで発生した口蹄病の流行は終焉を迎えた。
2005/02/15	40929	興和株式会社	チソキナーゼ	チソキナーゼ	ヒト胎児の肺に由来する正常二倍体線維芽細胞	米国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/02/15	40930	興和株式会社	チソキナーゼ	人血清アルブミン	ヒト血清	日本	添加物	無し	無し	無し			
2005/02/15	40931	興和株式会社	チソキナーゼ	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/15	40932	興和株式会社	チソキナーゼ	ペプトン	ブタの胃	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/15	40933	興和株式会社	チソキナーゼ	抗チソキナーゼモノクローナル抗体	マウスミエロマ細胞及びマウス抗チソキナーゼ抗体産生脾臓細胞から作製したハイブリドーマ	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/02/17	40934	株式会社第一ラジオアイソトープ研究所	ヨウ化人血清アルブミン	ヨウ化人血清アルブミン	ヒト血液	米国	有効成分	無し					
2005/02/21	40935	日本ケミカルリサーチ株式会社	ミリモスチム	ヒト血清アルブミン	ヒト血液	日本、米国	添加物	無し					
2005/02/21	40936	日本ケミカルリサーチ株式会社	ミリモスチム	ミリモスチム	ヒト尿	中国	有効成分	無し					

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/02/21	40937	麒麟麦酒株式会社	エポエチナルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	アメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り					
2005/02/21	40938	麒麟麦酒株式会社	エポエチナルファ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ膵臓由来トリブシン	アメリカ合衆国、カナダ	製造工程	有り					
2005/02/21	40939	麒麟麦酒株式会社	エポエチナルファ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞	アメリカ合衆国	製造工程	有り					
2005/02/21	40940	清水製薬株式会社		ヘパリンカルシウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	有り					
2005/02/21	40941	清水製薬株式会社	イオフェンインスリン水性懸濁注射液	インスリン	健康なウシの膵臓	アメリカ、カナダ	有効成分	無し					
2005/02/21	40941	清水製薬株式会社	インスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	健康なウシの膵臓	アメリカ、カナダ	有効成分	無し					
2005/02/21	40941	清水製薬株式会社	インスリン注射液	インスリン	健康なウシの膵臓	アメリカ、カナダ	有効成分	無し					
2005/02/21	40941	清水製薬株式会社	プロタミンインスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	健康なウシの膵臓	アメリカ、カナダ	有効成分	無し					
2005/02/21	40941	清水製薬株式会社	結晶性インスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	健康なウシの膵臓	アメリカ、カナダ	有効成分	無し					
2005/02/21	40942	清水製薬株式会社	イソフェンインスリン水性懸濁注射液	インスリン	健康なブタの膵臓	オランダ、フランス	有効成分	無し					
2005/02/21	40942	清水製薬株式会社	インスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	健康なブタの膵臓	オランダ、フランス	有効成分	無し					
2005/02/21	40942	清水製薬株式会社	無晶性インスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	健康なブタの膵臓	オランダ、フランス	有効成分	無し					
2005/02/22	40943	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有り					
2005/02/23	40944	持田製薬株式会社	インターフェロンアルファ ベータ	人血清アルブミン	ヒト血液	①②③米国、④日本	添加物・製造工程	有り					
2005/02/23	40944	持田製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	人血清アルブミン	ヒト血液	①②③米国、④日本	添加物・製造工程	有り					
2005/02/23	40945	持田製薬株式会社	インターフェロンベータ	インスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程	有り					
2005/02/23	40946	持田製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	オーストラリア	製造工程	有り					
2005/02/23	40947	持田製薬株式会社	インターフェロン ベータ	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有り					
2005/02/23	40948	持田製薬株式会社	インターフェロン ベータ	トリブシン	ブタ膵臓		製造工程	有り					
2005/02/23	40949	持田製薬株式会社	インターフェロン ベータ	カルボキシペプチダーゼ	ブタ膵臓	米国	製造工程	有り					
2005/02/23	40950	持田製薬株式会社	日本薬局方 ヘパリンナトリウム注射液	日局ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	フランス	有効成分	有り					
2005/02/24	40951	日本メジフィックス株式会社	診断薬	ガラクトシル人血清アルブミンジェチレントリアミン五酢酸テクネチウム	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	有り					
2005/02/24	40952	ZLBベ어링株式会社	ペブシン処理人免疫グロブリンG	ペブシン処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有り					
2005/02/24	40953	ZLBベ어링株式会社	人C1-インアクチベーター	人C1-インアクチベーター	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有り					
2005/02/24	40954	ZLBベ어링株式会社	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	有り					
2005/02/24	40954	ZLBベ어링株式会社	ペブシン処理人免疫グロブリンG	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	有り					

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/02/24	40954	ZLBベ어링株式会社	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	有り					
2005/02/24	40954	ZLBベ어링株式会社	人血清アルブミン	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	有り					
2005/02/24	40954	ZLBベ어링株式会社	人免疫グロブリンG	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	有り					
2005/02/24	40954	ZLBベ어링株式会社	破傷風抗毒素	ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	有り					
2005/02/25	40955	アボットジャパン株式会社	パリビズマブ(遺伝子組換え)	濃縮リビッド	羊毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り					
2005/02/28	40956	シェリング・プラウ株式会社	インターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有り					
2005/03/03	40957	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	初代腎臓培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/03	40958	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトアルブミン	ウシ乳	アメリカ、ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/03	40959	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	血清	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/03	40960	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 組織培養不活化狂犬病ワクチン	筋アデニル酸	ウマ肉	アメリカ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/03	40961	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥細胞培養痘そうワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	ペプトン	ブタ胃	アメリカ、日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/03	40962	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 組織培養不活化狂犬病ワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/03	40963	財団法人化学及血清療法研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン 乾燥細胞培養痘そうワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	オランダ	製造工程	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。
2005/03/07	40964	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ウシの肝臓	ウシの肝臓	日本、米、オーストラリア、ニュージーランド(日本及び米産の原材料は次回種菌培養より使用しない予定)	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/07	40965	財団法人阪大微生物研究会	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ビーフハートインフュージョン	ウシの心臓	インド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/07	40967	財団法人阪大微生物病研究会	コレラワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	スキムミルク	ウシの乳	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/07	40968	財団法人阪大微生物病研究会	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン	ポリペプトン	ウシの乳	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/08	40969	東菱薬品工業株式会社	ヘモコアグラゼ注射液	ヘモコアグラゼ	蛇毒	ブラジル	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/08	40970	東菱薬品工業株式会社	幼牛血液抽出物	ソルコセリル	幼牛血液	オーストラリア、ニュージーランド	有効成分	有り	無し	無し	原虫・肺炎・レプトスピラ症	Veterinary Record(VET.REC.)(United Kingdom)2004,28AUG,255-258	①コクシジウム症の大きな増加が確認された。②子牛に肺炎の発症の増加が確認された。③幼牛にLeptospira Hardjoの発症の増加が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											原虫・サルモネラ症	Veterinary Record(VET.REC.)(United Kingdom)2004,02OCT,409-412	①8月にNeospora Caninumの深刻な流行の発生が報告された。②サルモネラ症例の急増が報告された。
											炭疽	Canadian veterinary journal.La revue veterinaire canadienne 2004,45(6),516-7	2004年1月中旬に牛の突然死が170頭発生した。その後も突然死が続いた。開業医と州及び国の研究機関で連携し、調査した結果、炭疽菌によるものであることが判明した。
											寄生虫感染	Acta Tropica(Netherlands)2004,231-236	メキシコで初めて、牛由来のエノキコックス症に感染した患者が報告された。
											クローン	Medecine Veterinaire du Quebec2004,34(1-2),90-92	Mycobacterium avium subsp paratuberculosisがクローン病の原因となる根拠を述べて感染経路について考察している。
											クローン	Lancet.2004,364(9432)396-7	Mycobacterium avium subsp paratuberculosisがクローン病の原因となる根拠を述べて感染経路について考察している。
											クローン	Lancet.2004,364(9439)1039-44	Mycobacterium avium subsp paratuberculosisがクローン病の原因となる根拠を支持するデータが得られたことを述べて感染経路について考察している。また、オーストラリアのクローン病に対するマクロライド系抗生剤物質治療の臨床試験の大成功についても触れている。
2005/03/09	40971	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻疹ワクチン	トリプシン	ブタ膵臓	アメリカ合衆国、カナダ	製造工程	有り	無し	無し			
2005/03/09	40972	武田薬品工業株式会社	乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥まむし抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ペプシン	ブタ胃	アメリカ合衆国	製造工程	無し	無し	無し	E型肝炎ウイルス	Emerg.Infect.Dis.2004;10(5):953-955	英国のE型肝炎ウイルスに感染した急性患者から分離したウイルス株が英国のブタの集団感染に関係している株であると同定された。これはわが国の株と近縁性がある。これらのことは自然発生しているE型肝炎は人獣共通であると示唆され。
2005/03/09	40973	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻疹ワクチン	ニワトリ胚細胞	ニワトリ胚	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40974	武田薬品工業株式会社	インフルエンザHAワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40975	武田薬品工業株式会社	ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド	ウシ心臓透析外液	ウシ心臓	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/06	40976	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 弱毒生風しんワクチン 日本脳炎ワクチン	ラクトアルブミン水 解物	ウシの乳	ニュージーラ ンド、オースト ラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40977	武田薬品工業株式会社	コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイル病秋やみ混合ワクチン 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥痘そうワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソ イド 沈降精製百日せきジフテリア破傷 風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ポリペプトン	ウシの乳	ニュージーラ ンド、中国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40978	武田薬品工業株式会社	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキソ イド 沈降精製百日せきジフテリア破傷 風混合ワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷 風混合ワクチンキット 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド	カザミノアシド	ウシの乳	ニュージーラ ンド、オースト ラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40979	武田薬品工業株式会社	沈降破傷風トキソイド	ウシ肉水	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40980	武田薬品工業株式会社	ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキオ イド 沈降精製百日せきジフテリア破傷 風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド	ウシ肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40981	武田薬品工業株式会社	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキソ イド 沈降精製百日せきジフテリア破傷 風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシの乳	アメリカ合衆 国、日本	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/09	40982	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	ウシ血清	ウシ血液	①~③⑦アメリカ合衆国、④~⑥ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40983	武田薬品工業株式会社	ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド	バクトカジン	ウシ乳	ニュージーランド、アメリカ合衆国、オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40984	武田薬品工業株式会社	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ウマ血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40985	武田薬品工業株式会社	乾燥痘そうワクチン 痘そうワクチン	ウシ皮膚	ウシ皮膚	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40986	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	筋アデニール酸	ウマ筋肉	アメリカ合衆国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40987	武田薬品工業株式会社	ワイル病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血清	ウサギ血液	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/09	40988	武田薬品工業株式会社	乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥まむしウマ抗毒 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血清	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/10	40989	日本シェーリング株式会社	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	PROMED-Mail 2004822.2330:Chinese Journal of Preventive Vetrinary Medicine 2004; 26(1).Chinese	中国でのブタからのH5N1型及びH9N2鳥インフルエンザウィルスの分離と特性の評価。中国のブタ集団におけるH9N2鳥インフルエンザウィルス感染を確定したものであると同時にブタ集団でのH5N1型鳥インフルエンザウィルス新興感染の初報告でもある。
											大腸菌性胃腸炎	PROMED-Mail 20040914.2564:Organgeville(On)Banner	ブタロースト大会に参加後2名が腸管出血性大腸炎O157陽性となった。調査では病原性大腸炎の感染源は特定されておらず、パーティーで供された食品の検体は検査用に入手できなかった。
											E型肝炎	PROMED-Mail 20041128.3138:Daily Yomiuri Online,sun 28 Nov 2004	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウィルスに感染し、うち1人が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。今回の事例は日常的に食品が原因となったヒトへのE型肝炎感染伝播の日本で初の報告事例であると、厚生労働省当局者は述べた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/10	40990	大日本製薬株式会社	コンドロイチン	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの軟骨「気管」	米国、メキシコ	添加物	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433)、529-531.Gregori L et al.	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでプリオン病の感染が防止できるかについて検討した。ヒツジのスクレイピーを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
											BSE	J Vet Med B Infect Dis Vet Public Health 2004.51(5),209-215.Miyashita M et al.	ドイツのバイエル地方で臨床症状からBSEの疑われたウシ26頭の脳について、組織病理学および免疫学的両面から検証した。このうち6頭は明確なBSE反応がみとめられ、他20頭は他の疾患であった。
											スクレイピー	J Vet Diagn Invest 2004.16(4),316-321.Hamir AN et al.	ヒツジのスクレイピー由来試料をシカの脳内に接種した結果、シカの脳内に異常プリオンが沈着・増殖した。組織病理検査および免疫化学検査においては、シカの慢性消耗性疾患と区別できなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J Pathol.2004.203(3),733-739.Hilton DA et al	英国における扁桃腺と盲腸に対する異常プリオンたんぱく質の集団検査結果である。変異型CJD未発症のヒト、すなわち通常の英国民から抽出された。12674例の検査試料(盲腸)中、3例で陽性と判定された。潜在的vCJD患者の献血した血液による新たなvCJD患者の発生に関して、英国では非常に危惧されている。
2005/03/14	40991	アボットジャパン株式会社	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/14	40992	川崎三鷹製薬株式会社	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/14	40993	日本メジッククス株式会社	診断薬	ラクチネウム大凝集人血清アルブミン	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/15	40994	ファイザー株式会社	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタの腸	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/15	40995	株式会社フジモト・ダイアグノスティックス		ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	日本白色種家兔皮膚抽出液	中国	有効成分	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/16	40996	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子 人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血液	①②⑤⑥日本、③④米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS,FDA,CBER,BLOOD PRODUCTS ADVISORY COMMITTEE/July 23,2004,Transcript,6-28	2004/7/23に米国で開催された血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERのDr. Nakahashiは「Update on West Nile Virus」と題するプレゼンテーションの中でウエストナイルウイルスに関する供体停止期間を現在の発症後28日から56日に延長する考えであることを公表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting,UK/February 2003	英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルト会社のDet Norske Veritas (DNV)がvCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るためにvCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行いさらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003/2に最終報告として発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News/10 November,2004	アイルランド共和国において、英国滞在のレキのないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことがなく、供血もしたことがない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress 11 Nov,2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレビエントの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrP ^{Sc} のタイプに分類したサベイランスを行うことにより、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrP ^{Sc} タイプや特定のPrP ^{Sc} サブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルパルポウイルス感染	Journal of Infection Disease 190(11)1900,2004	サルパルポウイルスに対する抗体陽性のマカクサルコロニーの取り扱い者の血清サンプルについてサルパルポウイルス抗体をしらべた。その結果、暴露された人で、51%の陽性率であったのに対し、暴露されなかった人では35%であった。また、ヒトサルパルポウイルスB19ベースのELISAではサルパルポウイルスはヒトの骨髄単核細胞でも増殖し赤血球前駆細胞に毒性があることを示した。これらのことから、サルパルポウイルス人獣共通感染症である可能性が示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Neuriscience 24(50),1280-11290,2005	プロテアーゼ抵抗性ヒトプリオン蛋白とフェリチンが小腸上皮細胞より一緒に輸送される。sCJDの脳ホモジネートを消化酵素処理をするとプリオン病の伝播および病原性を示すプロテイナーゼK抵抗性の異常プリオン蛋白のコア成分と類似性のフラグメントが生じる。正常プリオン蛋白の発現量にかかわらず、DE処理によりヒト腸管上皮細胞バリアのインビトロモデルを通り抜ける異常プリオンたんぱく質複合体が形成された。予想に反し、異常プリオン蛋白質はDE処理した異常プリオン蛋白複合体の主要蛋白成分であるフェリチンと一緒に輸送された。異常プリオン蛋白とフェリチンの輸送は低温度に感受性があり、過剰の有利フェリチンにより疎外されることから、レセプターおよびトランスポーターによる仲介経路が存在するものと思われる。異常プリオンたんぱく質に会合するたんぱく質、特にフェリチンは遠い動物種でもその腸管からのPrP ^{Sc} の取り込みを容易なものとし、それによって人はキャリアーの状態をもたらす可能性があることが示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	AABB WEKLY REPORT.10(44)3.2004	米国血液銀行協会は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルスの流行に暴露された可能性のある供血者の取り扱いについて、HAVIに暴露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。
2005/03/16	40997	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	人血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS,FDA,CBER,BLOOD PRODUCTS ADVISORY COMMITTEE/July 23,2004,Transcript,6-28	2004/7/23に米国で開催された血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERのDr. Nakahashiは「Update on West Nile Virus」と題するプレゼンテーションの中でウエストナイルウイルスに関する供血液停止期間を現在の発症後28日から56日に延長する考えであることを公表した。
											vCJD	DNV Consulting,UK/February 2003	英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルタント会社のDet Norske Veritas (DNV)がvCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るためにvCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行いさらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003/2に最終報告として発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News/10 November,2004	アイルランド共和国において、英国滞在レキのないvCJD患者が始めて確認された。この患者は輸血を受けたことがなく、供血もしたことがない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress 11 Nov,2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレビエントの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrP ^{Sc} のタイプに分類したサベイランスを行うことによつて、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrP ^{Sc} タイプや特定のPrP ^{Sc} サブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルバルボウィルス感染	Journal of Infection Disease 190(11)1900,2004	サルバルボウィルスに対する抗体陽性のマカクサルのコロニーの取り扱い者の血清サンプルについてサルバルボウィルス抗体をしらべた。その結果、暴露された人で、51%の陽性率であったのに対し、暴露されなかった人では35%であった。また、ヒトサルボウィルスB19ベースのELISAではサルバルボウィルスはヒトの骨髓単核細胞でも増殖し赤血球前駆細胞に毒性があることを示した。これらのことから、サルバルボウィルス人獣共通感染症である可能性が示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Neuriscience 24(50),1280-11290,2005	プロテアーゼ抵抗性ヒトプリオン蛋白とフェリチンが小腸上皮細胞より一緒に輸送される:sCJDの脳ホモジネートを消化酵素処理をするとプリオン病の伝播および病原性を示すプロテイナーゼK抵抗性の異常プリオン蛋白のコア成分と類似性のフラグメントが生じる。正常プリオン蛋白の発現量にかかわらず、DE処理によりヒト腸管上皮細胞バリアのインビトロモデルを通り抜ける異常プリオンたんぱく質複合体が形成された。予想に反し、異常プリオン蛋白質はDE処理した異常プリオン蛋白複合体の主要蛋白成分であるフェリチンと一緒に輸送された。異常プリオン蛋白とフェリチンの輸送は低温度に感受性があり、過剰の有利フェリチンにより疎外されることから、レセプターおよびトランスポーターによる仲介経路が存在すると思われる。異常プリオンたんぱく質に会合するたんぱく質、特にフェリチンは遠い動物種でもその長官からのPrP ^{Sc} の取り込みを容易なものとし、それによって人はキャリアーの状態をもたらす可能性があることが示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	AABB WEKLY REPORT.10(44)3.2004	米国血液銀行協会は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルスの流行に暴露された可能性のある供血者の取り扱いについて、HAVに暴露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。
2005/03/16	40998	株式会社ベネイス	ポリエチレングリコール処理	人免疫グロブリンG	人血液	①日本、②③米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS,FDA,CBER,BLOOD PRODUCTS ADVISORY COMMITTEE/July 23,2004,Transcript,6-28	2004/7/23に米国で開催された血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERのDr. Nakahashiは「Update on West Nile Virus」と題するプレゼンテーションの中でウエストナイルウイルスに関する供血停止期間を現在の発症後28日から56日に延長する考えであることを公表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting,UK/February 2003	英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルト会社のDet Norske Veritas (DNV)がvCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るためにvCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行いさらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003/2に最終報告として発行された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News/10 November,2004	アイルランド共和国において、英国滞在のレキのないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことがなく、供血もしたことがない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress 11 Nov,2004	BSE由来プリオンでの人への一次および二次感染はプリオンソースおよびレビエントの遺伝子の如何により、孤発性CJD様に加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者すべてをPrP ^{Sc} のタイプに分類したサベイランスを行うことにより、BSE暴露パターンやvCJDプリオンの医原性ソースに関連した新規のPrP ^{Sc} タイプや特定のPrP ^{Sc} サブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルパルボウィルス感染	Journal of Infection Disease 190(11)1900,2004	サルパルボウィルスに対する抗体陽性のマカクサルスのコロニーの取り扱い者の血清サンプルについてサルパルボウィルス抗体をしらべた。その結果、暴露された人で、51%の陽性率であったのに対し、暴露されなかった人では35%であった。また、ヒトパルボウィルスB19ベースのELISAではサルパルボウィルスはヒトの骨髄単核細胞でも増殖し赤血球前駆細胞に毒性があることを示した。これらのことから、サルパルボウィルス人獣共通感染症である可能性が示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Neuriscience 24(50),1280-11290,2005	プロテアーゼ抵抗性ヒトプリオン蛋白とフェリチンが小腸上皮細胞より一緒に輸送される。sCJDの脳ホモジネートを消化酵素処理をするとプリオン病の伝播および病原性を示すプロテイナーゼK抵抗性の異常プリオン蛋白のコア成分と類似性のフラグメントが生じる。正常プリオン蛋白の発現量にかかわらず、DE処理によりヒト腸管上皮細胞バリアのインビトロモデルを通り抜ける異常プリオンたんぱく質複合体が形成された。予想に反し、異常プリオン蛋白質はDE処理した異常プリオン蛋白複合体の主要蛋白成分であるフェリチンと一緒に輸送された。異常プリオン蛋白とフェリチンの輸送は低温度に感受性があり、過剰の有利フェリチンにより疎外されることから、レセプターおよびトランスポーターによる仲介経路が存在するものと思われる。異常プリオンたんぱく質に会合するたんぱく質、特にフェリチンは遠い動物種でもその長官からのPrP ^{Sc} の取り込みを容易なものとし、それによって人はキャリアーの状態をもたらす可能性があることが示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											A型肝炎	AABB WEKLY REPORT.10(44)3.2004	米国血液銀行協会は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルスの流行に暴露された可能性のある供血者の取り扱いについて、HAVに暴露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。
2005/03/17	40999	日本シェーリング株式会社	インターフェロンベーター1b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 14(39)2004/9/23	英国の血漿ドナー9例がvCJDを発症したことがわかっている関連のある血液製剤からのvCJD感染のリスクは不明であるが、CJD Incidents PanelはCJD伝播の可能性のある事例の管理に関するアドバイスを提示し、血液製剤からのvCJDのリスク管理に関する勧告を発表した。
											インフルエンザ	WHO Communicable Disease Surveillance & Response2004/9/28	タイの公衆衛生省が鳥インフルエンザの家族内での感染を確認した。これまでの情報からは家族内での感染は確認されているが、市中への広域な伝播は発生していない。
											HIV	Dvox Sanguinis 86,171-177(2004)	米国血液銀行では、血液製剤の検体を混合して行う、ミニブールNATが導入されている。しかし検体のHIV-RNA濃度が低いため検出できず、輸血によりHIV感染がおこった。単一の検体でNATを行えば、このようなすり抜けは起こらなかった可能性があるが、費用の面でクリアすべき事柄が多い。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	RIVM report 630940004(2004)	オランダにおける鳥インフルエンザ NA/H7N7型流行に関して、感染家畜に暴露した人の少なくとも50%が抗H7特異的抗体を保有していたことから、少なくとも1000人に感染したことが予想された。感染された人と家庭内で密接な接触があった人の抗H7特異的抗体の陽性率は59%であったため、大きな規模で感染が発生することが示唆された。
											コロナウイルス感染	厚生労働省検疫所海外感染症情報/詳しい情報 2005/1/20	エール大学の研究チームが発見したコロナウイルスについて、5歳以下の患児を検査すると9%が保有していた。また川崎病患者からも高頻度で保有が認められた。コロナウイルスは診断同定の検査法が最近までなかった。
2005/03/17	41000	清水製薬株式会社	バルナバリンナトリウム注射液	バルナバリンナトリウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	有り	無し	無し	A型インフルエンザ	IDWR 2004 34週	アジアでの鳥インフルエンザの伝播と、インフルエンザウィルスの種差の壁をこえて感染することから、ブタに鳥インフルエンザが感染するのは予測できる。実際に中国ではこのことが発表された。
											E型肝炎	IDWR 2004 47週	E型肝炎は経口感染し従来から水系感染しときに劇症化すると考えられており、インド、中央アジア、メキシコ、北アフリカ、中国ではアウトブレイクが起きている。これに国内での発生動向みると、2002年から2003年にかけては急激な感染の増加が起きているが渡航歴のない感染者がふえており、国内においてブタ、シカ、イノシシなどを接触する際は注意が必要である。
2005/03/17	41001	東和薬品株式会社	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの気管抽出物	アメリカ	添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコンドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433)、529-531.Gregori L et al.	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでプリオン病の感染が防止できるかについて検討した。ヒツジのスクレイパーを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
2005/03/17	41002	伊藤ライフサイエンス株式会社	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	ProMED, 20040821-0070 (Bloomberg.com 2004/08/20, Yahoo News 2004/08/20)	中国当局が始めてトリインフルエンザA型(H5N1)をブタで発見した。それに対するWHOとFAOからのコメント。
											コレラ	ProMED, 20040917-0010	西チモールでニワトリがニューカッスル病により、ブタが豚コレラの疑いで大量に死亡した。イタリアで炭疽菌が分離され、ブタ症例が確認された。
											炭疽	ProMED, 20041010-0010	西チモールでニワトリがニューカッスル病により、ブタが豚コレラの疑いで大量に死亡した。イタリアで炭疽菌が分離され、ブタ症例が確認された。
											E型肝炎	厚生労働省Hp	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染した。十分加熱していなかったのが原因と考えられる。
											口蹄疫	ProMED, 20050123-0080	フィリピンで9年ぶりに口蹄疫の発生がなかった。
											不明	ProMED, 20050130-0010	マレーシアにおけるブタの大量死の原因がパニウイルスやブタコレラではなかった。
											不明	ProMED, 20050216-0410	インドにおいてブタが大量死した。
2005/03/17	41003	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイル病治療血清 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41004	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	乳糖	ウシ乳	ニュージーランド	添加物	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウェスタンブロット法によって検出された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/17	41005	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	肉	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウエスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41006	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウエスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41007	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	ハートエキス	クジラ心臓	補鯨国:日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41008	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン	ハートインフージョンブイオン	ウシ乳・心臓		製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウエスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41009	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン	ハートインフージョンアガー	ウシ乳・心臓		製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウエスタンブロット法によって検出された。
2005/03/17	41010	財団法人化学及血清療法研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド ウイルス治療血清 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	ポリペプトン	ウシ乳	中国・ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウエスタンブロット法によって検出された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/17	41011	財団法人化学及血清療法研究所	コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシ乳	アメリカ	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウエスタンプロット法によって検出された。
2005/03/17	41012	財団法人化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	オーストラリア・ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP、報道発表(2004/11/1)	BSE感染が確認された農場で死亡した94ヶ月齢の牛(国内11例目)の各種組織における異常プリオンたんぱく質の蓄積について調査したところ、坐骨神経の末梢神経組織や副腎から、わずかな量の異常プリオンたんぱく質がウエスタンプロット法によって検出された。
2005/03/17	41013	財団法人化学及血清療法研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	発育鶏卵	ニワトリ発育鶏卵	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41014	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/17	41015	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶ毒	ハブ毒素	日本	原材料	無し	無し	無し			
2005/03/17	41016	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむし毒	マムシ毒素	日本	原材料	無し	無し	無し			
2005/03/17	41017	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素“化血研”	まむしウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/17	41018	財団法人化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	血液	モルモット血液		製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41019	財団法人化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	肝臓	モルモット肝臓		製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/17	41020	財団法人化学及血清療法研究所	ワイル病治療血清	血清	ウサギ血液		製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/18	41021	日本ビーシージー製造株式会社	精製ソベルクリン	乳糖	ウシ乳	オランダ、ベルギー、ドイツ、ルクセンブルグ	添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine,10(6), 591-593, 2004 June	フランスの研究グループによると、スクレイビーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Preventive Veterinary Medicine 63, 135-149, 2004	BSE感染牛から作られた牛脂を用いた牛乳代用品を、生後7週間子牛に与えた。汚染された牛乳代用品の許容純度と脊髄のBSE感染物質が関係している可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2004, 85, 3159-3163	BSEを経口摂取したヒツジから子羊が母子感染する頻度は臨床的にBSE感染したヒツジからの母子感染より頻度は低いことが示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of comparative Pathology, 2005: 59-69	実験的にBSEを感染させたヒツジは症状発現前の扁桃腺バイオプシーサンプルにPrPscが検出される可能性が示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/18	41022	日本ビーシージー製造株式会社	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											インフルエンザ	Veterinary record, 2004, 30, OCT	タイの動物園で死んだニワトリを餌としてトラに与えていた。トラへのHPAIの感染の可能性が考えられ、30頭が死亡し25頭がさらに感染した。とOIEが報告した。
											インフルエンザ	Veterinary record, 2004, 31, OCT	タイの動物園で死んだニワトリを餌としてトラに与えていた。これによってトラへのHPAIの感染の可能性が考えられ、30頭が死亡し26頭がさらに感染した。
											インフルエンザ	The Lancet, infection diseases (4)DEC 2004	タイの動物園で死んだニワトリを餌としてトラに与えていた。これによってトラ102頭への鳥インフルエンザ感染の可能性が考えられた。
											インフルエンザ	Science, 306,5 NOV 2004	世界的に大流行の脅威を増加させてH5N1インフルエンザウイルスは2003年より2004年の方が環境中でより長く生息でき、このときアヒルが関連していると考えられた。
											インフルエンザ	Veterinary record, 2004, 27, NOV	世界的に大流行の脅威を増加させてH5N1インフルエンザウイルスの増殖にはアヒルが関連していると考えられた。
2005/03/23	41023	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌莢膜ポリサッカライド	肺炎球菌莢膜	米国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/23	41024	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	リボヌクレアーゼ	ウシ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41025	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	デオキシリボヌクレアーゼ	ウシ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41026	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国、オーストラリア、ニュージーラ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41027	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	トリプシン	ウシ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41028	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	ハートインフュージョンプロス	ウシ心臓、ウシ骨格筋、ウシ脂肪組織、ウシ骨髄、ウシ結合組織	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41029	萬有製薬株式会社	肺炎球菌ワクチン	ウサギ脱線維血液	ウサギ血液	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41030	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻疹ワクチン	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	①③ニュージーランド、②ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	人獣共通感染症	平成16年度第二回薬事食品衛生審議会医薬品等安全対策部会資料	国内水痘ワクチンより、原料であるウシ胎児血清に由来するうしポリオーマウイルスの遺伝子断片が検出されたことが明らかになった。感染研はこの断片のPCR検査を暫定的な感染の判断基準とすることとした。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											人獣共通感染症	平成17年度第二回薬事食品衛生審議会医薬品等安全対策部会資料	水痘ワクチンの原料であったウシ胎児血清を調査した結果すべてのバッチからウシポリオーマウィルスの遺伝子断片が検出された。いずれも感染性はなかった。
											人獣共通感染症	平成18年度第二回薬事食品衛生審議会医薬品等安全対策部会資料	ウシポリオーマウィルスについて、ウシでは高頻度で遺伝子が検出され、人でも農夫獣医師などはその70%が抗体陽性である。
2005/03/23	41031	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	ニュージーランド、カナダ、米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41032	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ラクトアルブミン水分解物	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41033	社団法人北里研究所	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン コレラワクチン	ペプトン	ウシ乳	①ポーランド、中国、ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41034	社団法人北里研究所	沈降精製百日せきワクチン 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド コレラワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド 百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41035	社団法人北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	米国、オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41036	社団法人北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン 沈降精製百日せきワクチン コレラワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	①～③ニュージーランド、オーストラリア ④～⑥不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41037	社団法人北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国、オーストラリア、ニュージーラ	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/23	41038	社団法人北里研究所	ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ハートエキス	クジラ心臓	不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41039	社団法人北里研究所	乾燥弱毒性風しんワクチン	ウサギ腎初代培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41040	社団法人北里研究所	沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン	ウマ脱繊維血	ウマ血液	①②ニュージーランド、③～⑤不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41041	社団法人北里研究所	ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ウマ血清	ウマ血液	①～③米国、④～⑥不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41042	社団法人北里研究所	日本脳炎ワクチン	マウス脳乳液	マウス脳	①②日本、③④不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41043	社団法人北里研究所	乾燥弱毒性麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	日本、米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41044	社団法人北里研究所	インフルエンザワクチン インフルエンザHAワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	①②日本、③不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41045	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	トリプシン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41046	社団法人北里研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ヒツジ血清	ヒツジ血液	①～③米国、④～⑥不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41047	社団法人北里研究所	乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しんワクチン	コレステロール	ヒツジ毛	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41048	社団法人北里研究所	ジフテリアトキソイド 日本脳炎ワクチン	ゼラチン	ウシの骨皮	不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41049	社団法人北里研究所	乾燥痘そうワクチン	ウシ表皮	ウシ	不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/23	41050	社団法人北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	乳糖	ウシ乳	①ニュージーランド、米国②③オランダ、ドイツ、ベルギー、ルクセンブルク	添加物	無し	無し	無し			
2005/03/24	41051	持田製薬株式会社	インターフェロン ベータ 硫酸フラジオマイシン、結晶トリプシン	トリプシン	ウシ膵臓	ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP2004/11/1	動物衛生研究所プリオン病研究センターにより、初めてBSE感染牛の末梢神経組織や副腎が検出されたと報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/24	41052	持田製薬株式会社	トロンピン 日本薬局方トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP2004/11/1	動物衛生研究所プリオン病研究センターにより、初めてBSE感染牛の末梢神経組織や副腎が検出されたと報告された。
2005/03/24	41053	持田製薬株式会社	トロンピン 日本薬局方トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP2004/11/1	動物衛生研究所プリオン病研究センターにより、初めてBSE感染牛の末梢神経組織や副腎が検出されたと報告された。
2005/03/24	41054	持田製薬株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly, 2004/11/11	アイルランド共和国において、vCJVの可能性のある患者が一人発生した。アイルランドでは初の国内感染である。
											ロタウィルス胃腸炎	第52回日本ウィルス学会学術集会 2004/11/21-23	ラテックス凝集試験を用いた抗体試験でA群トリロタウィルスPO-13株が人獣共通感染症の病原体である可能性がはじめて示された。
											コロナウィルス感染	Journal of Infection Disease, 2004, 191, 492-498	米国において五歳未満の症状がある小児から採取した気道標本895例中79例から新種のヒトコロナウィルスが検出された。
											インフルエンザ	The New England Journal of Medicine, 352(4), 2005/1/27	タイにおけるトリインフルエンザA感染について、ひとつの家族に関して調査をおこない、ヒト-ヒト感染の可能性を明らかにした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP2005/2/4	2005/2/4のCJDサベイランス委員会及びCJD等検討会が開催され、2001/12に40歳代で発症し死亡した男性患者が国内最初のvCJDであると確定された。
2005/03/24	41055	持田製薬株式会社	日本薬局方 注射用胎盤性性腺刺激ホルモン	日局 胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト(妊婦)尿	中国	添加物	有り	無し	無し	HIV	New Scientist, 2004/08/09	HIV様ウィルスの新種株が野生動物に感染循環しており、その肉を食べるヒトに感染伝播していることが示唆される。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly, 2004/11/11	アイルランド共和国において、vCJVの可能性のある患者が一人発生した。アイルランドでは初の国内感染である。
											ロタウィルス胃腸炎	第52回日本ウィルス学会学術集会 2004/11/21-23	ラテックス凝集試験を用いた抗体試験でA群トリロタウィルスPO-13株が人獣共通感染症の病原体である可能性がはじめてしめされた。
2005/03/24	41056	ジェンザイム・ジャパン株式会社	アガルシダーゼ ベータ(遺伝子組換え)	ドナー子ウシ血清	ドナー子ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/03/25	41057	武田薬品工業株式会社	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウス脳	日本	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/25	41058	バクスター株式会社	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	J Gastroenterology and Hepatology 2004,19,778-84	複数回の輸血経験群のE型肝炎マーカーは健常者と比較して、優位さが認められた。また、E型肝炎マーカーについて輸血を受けた25症例と受けてない25例とでプロスペクティブ試験をおこなった。輸血前3例輸血後3例が観察期間中にHEV感染が発現した。また、対照群では試験前に2例HEV抗体が検出されたが、残りは発現しなかった。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
2005/03/25	41059	バクスター株式会社	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	J Gastroenterology and Hepatology 2004,19,778-84	複数回の輸血経験群のE型肝炎マーカーは健常者と比較して、優位さが認められた。また、E型肝炎マーカーについて輸血を受けた25症例と受けてない25例とでプロスペクティブ試験をおこなった。輸血前3例輸血後3例が観察期間中にHEV感染が発現した。また、対照群では試験前に2例HEV抗体が検出されたが、残りは発現しなかった。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相関性が一致した。
2005/03/25	41060	バクスター株式会社	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体	人血漿	米国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	J Gastroenterology and Hepatology 2004,19,778-84	複数回の輸血経験群のE型肝炎マーカーは健常者と比較して、優位さが認められた。また、E型肝炎マーカーについて輸血を受けた25症例と受けてない25例とでプロスペクティブ試験を行った。輸血前3例輸血後3例が観察期間中にHEV感染が発現した。また、対照群では試験前に2例HEV抗体が検出されたが、残りは発現しなかった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
2005/03/25	41061	バクウター株式会社	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	中国	添加物	無し	有り	無し			
2005/03/25	41062	バクスター株式会社	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコンドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含む。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	J Gastroenterology and Hepatology 2004,19,778-84	複数回の輸血経験群のE型肝炎マーカーは健常者と比較して、優位さが認められた。また、E型肝炎マーカーについて輸血を受けた25症例と受けてない25例とでプロスペクティブ試験を行った。輸血前3例輸血後3例が観察期間中にHEV感染が発現した。また、対照群では試験前に2例HEV抗体が検出されたが、残りは発現しなかった。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
2005/03/25	41063	財団法人化学及血清療法研究所	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	アプロチニン液	ウシ肺臓	ウルグアイ	有効成分	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/25	41064	財団法人化学及血清療法研究所	トロンピン フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子 乾燥濃縮人活性化プロテインC	トロンピン	ヒト血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒトヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), NOV 2004	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染おこったことが始めて証明された。
											インフルエンザ	厚生労働省HP2005/12/22	国内で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関して、防疫作業従事者を対象に抗体価をはかったら対照群と比べ値が高かった。
2005/03/25	41065	財団法人化学及血清療法研究所	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	人フィブリノゲン	ヒト血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), NOV 2004	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染おこったことが始めて証明された。
											インフルエンザ	厚生労働省HP2005/12/22	国内で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関して、防疫作業従事者を対象に抗体価をはかったら対照群と比べ値が高かった。
2005/03/25	41066	財団法人化学及血清療法研究所	フィブリノゲン加第Ⅷ因子	人血液凝固第Ⅷ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオンinホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), NOV 2004	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
											インフルエンザ	厚生労働省HP2005/12/22	国内で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関して、防疫作業従事者を対象に抗体価をはかったら対照群と比べ値が高かった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/25	41067	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	血液凝固第Ⅸ因子	ヒト血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), NOV 2004	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
											インフルエンザ	厚生労働省HP2005/12/22	国内で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関して、防疫作業従事者を対象に抗体価をはかったら対照群と比べ値が高かった。
2005/03/25	41068	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子 人血清アルブミン 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子 乾燥濃縮人活性化プロテインC 乾燥スルホ化人免疫グロブリン ボルヒール	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), NOV 2004	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
											インフルエンザ	厚生労働省HP2005/12/22	国内で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関して、防疫作業従事者を対象に抗体価をはかったら対照群と比べ値が高かった。
2005/03/25	41069	財団法人化学及血清療法研究所	人免疫グロブリン ヒスタミン加入免疫グロブリン製剤	免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), NOV 2004	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
											インフルエンザ	厚生労働省HP2005/12/22	国内で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関して、防疫作業従事者を対象に抗体価をはかったら対照群と比べ値が高かった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/03/25	41070	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	抗破傷風人免疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	有り	重症急性呼吸器症候群	Nature Medicine online 21 march 20041038-1024	小児から新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。このウイルスが小児以外にも検出されたことから、ヒト-ヒト間を広範囲に広がっていることが予想された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVIに感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), NOV 2004	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
2005/03/25	41071	同仁医薬化工株式会社	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/28	41072	日本製薬株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	①②共、現在は製造していない	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/28	41073	日本製薬株式会社	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	人血液	①日本、②現在は製造していない	添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Departmento of haelth 22 jJuly 2004	輸血制限対象として新たに受血歴不明の供血者と受血経験のある血しょう成分提供者を追加。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベールランスについて重大な示唆を含むものである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433)、529-531	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでprion病の感染が防止できるかについて検討した。ヒツジのscrapieを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。
											HIV	Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177	抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検知できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検地することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	committee for medicinal products for human use 21Oct 2004.EMEA発	vCJDのリスクに関する血しょう由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 2004, 10(38), 1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し現行のままにいくこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004: 10 (38) 1-3	フランスで8例目のvCJDが報告された。血しょう分画製剤による伝播の証拠はない。
											E型肝炎	PROMED-Mail 20041128.3138;Daily Yomiuri Online,sun 28 Nov 2004	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染し、うち1人が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。今回の事例は日常的に食品が原因となったヒトへのE型肝炎感染伝播の日本で初の報告事例であると、厚生労働省当局者は述べた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	共同通信2004/12/17	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け輸血により伝播した。
											ウエストナイルウイルス感染	Transfusion, 2004, 44,1695-9	ミニプールでNATを行ったが、西ナイルウイルスがすり抜け感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44,1555-61	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
2005/03/28	41074	日本製薬株式会社	乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理	人血液	①日本、②現在は製造していない	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Departmento of haelth 22 jJuly 2004	輸血制限対照として新たに受血歴不明の供血者と受血経験のある血しょう成分提供者を追加。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433)、529-531	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでprion病の感染が防止できるかについて検討した。ヒツジのscrapieを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。
											HIV	Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177	抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検地できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検地することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	committee for medicinal products for human use ,21Oct 2004,EMEA発	vCJDのリスクに関する血しょう由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 2004、10(38)、1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し現行のままで行くこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004:10 (38) 1-3	フランスで8例目のvCJDが報告された。血しょう分画製剤による伝播の証拠はない。
											E型肝炎	PROMED-Mail 20041128.3138:Daily Yomiuri Online,sun 28 Nov 2004	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染し、うち1人が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。今回の事例は日常的に食品が原因となったヒトへのE型肝炎感染伝播の日本で初の報告事例であると、厚生労働省当局者は述べた。
											B型肝炎	共同通信2004/12/17	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け輸血により伝播した。
											ウエストナイルウイルス感染	Transfusion, 2004, 44,1695-9	ミニプールでNATを行ったが、西ナイルウイルスがすり抜け感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44,1555-61	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染おこったことが始めて証明された。
2005/03/28	41075	日本製薬株式会社	トロンビン	トロンビン	人血液	①②日本(③は未発売)	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Departmento of haelth 22 jJuly 2004	輸血制限対照として新たに受血歴不明の供血者と受血経験のある血しょう成分提供者を追加。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364、527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433)、529-531	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでプリオン病の感染が防止できるかについて検討した。ヒツジのスクレイパーを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。
											HIV	Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177	抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検地できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検地することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	committee for medicinal products for human use ,21Oct 2004,EMA発	vCJDのリスクに関する血しょう由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 2004, 10(38), 1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し現行のまままでいくこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004: 10 (38) 1-3	フランスで8例目のvCJDが報告された。血しょう分画製剤による伝播の証拠はない。
											E型肝炎	PROMED-Mail 20041128.3138:Daily Yomiuri Online,sun 28 Nov 2004	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染し、うち1人が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。今回の事例は日常的に食品が原因となったヒトへのE型肝炎感染伝播の日本で初の報告事例であると、厚生労働省当局者は述べた。
											ウエストナイルウイルス感染	Transfusion, 2004, 44,1695-9	ミニプールでNATを行ったが、西ナイルウイルスがすり抜け感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44,1555-61	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
2005/03/28	41076	日本製薬株式会社	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血液	①③⑤日本 (②④現在製造していない)	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Departmento of haelth 22 jJuly 2004	輸血制限対照として新たに受血歴不明の供血者と受血経験のある血しょう成分提供者を追加。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433)、529-531	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでprion病の感染が防止できるかについて検討した。ヒツジのscrapieを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。
											HIV	Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177	抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検地できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検地することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	committee for medicinal products for human use, 21 Oct 2004, EMEA 発	vCJDのリスクに関する血しょう由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 2004, 10(38), 1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し現行のままていくとことした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004: 10 (38) 1-3	フランスで8例目のvCJDが報告された。血しょう分画製剤による伝播の証拠はない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	PROMED-Mail 20041128.3138:Daily Yomiuri Online,sun 28 Nov 2004	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染し、うち1人が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。今回の事例は日常的に食品が原因となったヒトへのE型肝炎感染伝播の日本で初の報告事例であると、厚生労働省当局者は述べた。
											ウエストナイルウイルス感染	Transfusion, 2004, 44,1695-9	ミニプールでNATをおこなったが、西ナイルウイルスがすり抜け感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44,1555-61	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染が起こったことが始めて証明された。
2005/03/28	41077	日本製薬株式会社	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	人血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコドン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364(9433), 529-531	輸血用の血液の場合、白血球を分離除去することでプリオン病の感染が防止できるかについて検討した。ヒツジのスクレイピーを感染させたハムスターの血液から白血球を除いた分画を別の動物に輸血した。感染率は大幅に低下したが、かなりの程度で感染が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。
											HIV	Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177	抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検地できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検知することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Committee for medicinal products for human use ,21Oct 2004,EMEA	vCJDのリスクに関する血しょう由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 2004, 10(38), 1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会は血液および血液製剤によるvCJDの傳播防止措置は適切であると判断し現行のまままでいくとことした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004: 10 (38) 1-3	フランスで8例目のvCJDが報告された。血しょう分画製剤による傳播の証拠はない。
											E型肝炎	PROMED-Mail 20041128.3138:Daily Yomiuri Online,sun 28 Nov 2004	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染し、うち1人が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。今回の事例は日常的に食品が原因となったヒトへのE型肝炎感染傳播の日本で初の報告事例であると、厚生労働省当局者は述べた。
											ウエストナイルウイルス感染	Transfusion, 2004, 44,1695-9	ミニプールでNATを行ったが、西ナイルウイルスがすり抜け感染した。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44,1555-61	献血時は無症状だった急性A型肝炎の献血者から輸血された患者にHAV感染おこったことが始めて証明された。
2005/03/29	41078	日本赤十字社		合成血	人血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc. 2004/08/03	PRDT社は赤血球製剤のプリオン除去フィルターを2005年にまでに上市することを目標としている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 529-531, 2004/08/27	スクレイパーを感染させたハムスターから採血し、プールした全血450mlから市販のフィルターを用いて白血球除去した。白血球数は2.9log低下し、TSE感染因子総量の42%除去した。白血球除去フィルターは白血球由来の感染を防ぐには十分ではない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイパー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet.2004.364, 527-529	vCJDを発症したドナーからの輸血を受けた後、五年後に神経学的疾患以外の疾患が元で死亡した患者におけるvCJD感染が解剖で検出された初めての症例の報告。脾臓におけるプロテアーゼ抵抗性蛋白がウエスタンブロットなどによって同定されたが、脳には発見されなかった。プリオン蛋白の免疫組織化学では、子宮頸部リンパ節においても、陽性反応がみられた。この患者はPRNPのコードン129がヘテロ接合体であり、これはvCJD感染症に罹りやすいのはメチオニンホモ接合体のPRNPジェノタイプに限定されないことを意味している。これらの知見は英国におけるvCJDの今後の発症予測とサベランスについて重大な示唆を含むものである。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service, Press Releases 2004.10.31	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国滞在歴や手術歴などに新たに供血者制限を入れた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20041124-0040 (Expatica, AFP記事)	フランスで9例目となるvCJD患者の品会献血が報告された。該当血液はすでに使用されているため、受血者の追跡調査を開始した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 2004; 306, (5702): 1793-1796	129位のアミノ酸がバリンであるヒトプリオン蛋白質はvCJDの発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J Neuroscience. 24(50), 11280-11290, 2004	フェリチンが種の間で保存性を示すため、遠く離れた種のPrP(Sc)が腸管から吸収されるのを促進し、ヒトにおける輸送体となる可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004.12.17	オランダは血液を介したvCJD伝播の懸念から、2004/12/9供血に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20050129-0060 (EU食品局安全ウェブサイト 1/28)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果陽性であることが判明した。これはウシ以外の食用動物が牛海綿状脳症に感染した初めての事例である。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/12/30	高病原性インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											インフルエンザ	New English Journal of Medicine, 2005, 352(4), 333-340	高病原性インフルエンザA(H5N1)がヒトヒト感染したことを示す最初の報告。
											A型肝炎	aaBB Association Bulletin, #04-08 2005.1.24	米国血液銀行協会は血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置にしたがって、供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV、C型肝炎	New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	血清学的検査陰性供血者の米国供血者に対するミニプール拡散増幅検査の結果、年間約5件のHIV-1また、約56件のHCVを検出した。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medical Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎	Hepatology, 2004,40(5), 1072-1077	カナダの血液透析センターにおいて血液透析を受けている成人患者におけるoccult HBV有病率は、標準的なHBsAg検査が示唆するよりも約4~5倍高い。またウイルス量が少なく、sG145R変異体の保有率が高い。
											B型肝炎	ABC Newsletter, 2004.10.22.8-9	FDA血液製剤諮問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え、供血者のリエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hematology 46th Annual Meeting,2259	B型肝炎の既往歴を有する14名の患者に対し実施された同種造血幹細胞移植ではHBVが再活性化しているリバーセンスレコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎	Vox Sang, 2005, 88(1), 10-16	日本の献血者においてNATにより検出されたハイスドナーはHBV、HCV双方とも、主に若年者で、入院患者とは異なるジェノタイプの分布を有する。HBVのまれなジェノタイプHが日本で始めて発見された。本調査は若年者にHBV、HCVが現在広がっていることの報告である。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	日本の透析患者におけるHEV保有率は低値であった。1979年の輸血に起因するとされるHEV感染症例も示された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
											E型肝炎	Daily Yomiuri Online, sun 28 Nov 2004	ブタの肝臓を摂取した6名がE型肝炎ウイルスに感染し、うち1人が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。今回の事例は日常的に食品が原因となったヒトへのE型肝炎感染伝播の日本で初の報告事例であると、厚生労働省当局者は述べた。
											E型肝炎	肝臓, 2004; 45 (suppl3) 第35回日本肝臓学会東部会講演要旨No117	輸血後のE型肝炎が示唆されたとの報告である。
											ウエストナイルウイルス	ABC Newsletter, 2004/11/5	FDAはウエストナイルウイルスに対する供血延長期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMED, 200501259-0070 (ウイルス学学生物工学研究センター 1/24)	ウエストナイルウイルスが現在ロシア極東地域で循環していることが確認された。
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間でチャンディブラウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、塩基配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い相同性を示した。
											デング熱ウイルス	Clinical Infectious Disease, 2004, 39(6), e56-60	デング熱患者の血液飛沫を顔面に受けた医療従事者が、ウイルスに感染した。蚊を媒介とせず、皮膚粘膜を介して伝播したと考えられる最初の症例。
											ウイルス感染	ProMED, 20041123-0030 (TropNetEurop, 11/27)	ニバウイルス感染による死亡例でヒトヒト感染が疑われた。
2005/03/30	41079	ZLBベアリング株式会社	フィブリノゲン加第Ⅷ因子	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、米国、ニュージーランド	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/30	41080	ZLBベアリング株式会社	フィブリノゲン加第Ⅷ因子 人血液凝固第Ⅷ因子 人血清アルブミン	人血清アルブミン	ヒト血液	①④⑤⑥米国、ドイツ、オーストリア ②③米国	添加物	有り	有り	無し	HIV	Transfusion, 2004, 44(6), 929-933	米国における、ミニプールNAT実施後2例目のウィンドウ期間中の献血者からのHIV伝播の報告。18歳のドナーから2人に感染した。
2004/03/30	41081	財団法人阪大微生物病研究会	発疹チフスワクチン	卵黄囊	発育鶏卵	日本	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	Emerg.Infect.Dis.2004;10(7): 2004,1321-1324	既知の症状と異なり、発熱や下痢症状を示しているが呼吸器症状を示していない鳥インフルエンザ罹患に関する報告。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	ProMEDのHP (Avian influenza,humans-Japan(Kyoto)(3))	厚生労働省は12/22 2004年2月にニワトリで発生した鳥インフルエンザ流行の際に少なくとも1名が同インフルエンザに感染したが、この感染者からヒトヒト感染の機会なかったと発表した。
											インフルエンザ	New English Journal of Medicine, 2005, 352(4), 333-340	高病原性インフルエンザA(H5N1)がヒトヒト感染したことを示す最初の報告。
2005/03/30	41082	財団法人阪大微生物病研究会	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	尿膜腔液	発育鶏卵	日本	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	Emerg.Infect.Dis.2004;10(7):2004,1321-1324	既知の症状と異なり、発熱や下痢症状を示しているが呼吸器症状を示していない鳥インフルエンザ罹患者に関する報告。
											インフルエンザ	ProMEDのHP (Avian influenza,humans-Japan(Kyoto)(3))	厚生労働省は12/22 2004年2月にニワトリで発生した鳥インフルエンザ流行の際に少なくとも1名が同インフルエンザに感染したが、この感染者からヒトヒト感染の機会なかったと発表した。
											インフルエンザ	New English Journal of Medicine, 2005, 352(4), 333-340	高病原性インフルエンザA(H5N1)がヒトヒト感染したことを示す最初の報告。
2005/03/31	41083	日本医薬品工業株式会社	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	該当しない	有効成分	無し	無し	無し			
2005/03/31	41084	扶桑薬品工業株式会社	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	米国、カナダ、中国	有効成分	有り	無し	無し	サルモネラ症	Emerg.Infect.Dis.2004;10(9):2004,1674-1676	台湾の監視システムによるとコレラライシ血清型サルモネラ菌のフルオロキノロン耐性は2000年から2003年には70%に達している。感染源は飼育ブタである可能性が高い。フルオロキノロンが重症のサルモネラ感染症の治療薬であることから、この耐性は重大な話である。
											サルモネラ症	Emerg.Infect.Dis.2004;10(12):2225-2227	オランダの農場でヒト、ブタおよび仔ウシから多剤耐性サルモネラが単離された。ブタヒト感染の可能性はある。
											サルモネラ症	Epidemiol Infect.2004;132(5)881-887	ドイツではまれな血清型である、サルモネラ菌種が2001年に分離された。発行ソーセージの消費と関連性が示唆された。